







たれ



後撰春下 ゆくさねと惜しきれあすうら みるくもちのぬぬへきれ みつね  
 拾玉集五 石葉もよわりさうさ楊花 きりへるまをみりさうの 静賢  
 玉葉秋下 うもあろろね葉志を風落て きうとれ乃ち秋の山りし 前奉後雅有  
 風雅秋上 くれうつるゆくのたひんそ きりにそぬき舞の影 春原あすね  
 新拾秋上 かつららあもほもてらち きうにほけつ秋乃旅人 常盤井道大  
 新拾秋下 隆のともものたれゆふれ きうに旅まうまの月 如願法師  
 風雅弦 旅しちも朔らんちもあひせ きうにらるるの月 順徳院あ  
 玉葉秋上 秋山のまきゆく鹿乃もとる きりたまうろくまもれ名 お大僧心慈法  
 後撰秋中 花見あちあち秋の乃 きりよまあひてさあもけり きあつゆき  
 玉葉秋下 石うさうら時ゆつる初 きりよまうろく山をまの 前大納言  
 風雅秋下 入あ、松原のわくはひき初 きりよまうろく山をまの 中納言宗  
 玉葉秋上 石葉もよわりさうさ楊花 きりよまうろく山をまの 和泉式部  
 新拾遺秋 男あ事みあつきねとあはれと きりよまうろく山をまの 太上天皇  
 新古秋下 さひいさうさ山のたれあさる きりよまうろく山をまの 平政長  
 玉葉秋下 夕白さう山のたれあさる きりよまうろく山をまの  
 月清集上 夕白さう山のたれあさる きりよまうろく山をまの

頁の



拾遺集上

月清集上

拾玉集六

拾遺集上

新葉秋上

新古秋下

古今秋上

新古秋上

大和物語

古今秋上

拾玉集二

拾玉集一

新古秋下

拾玉集一

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

新古秋下

新古秋下

新古秋下

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

新古秋下

新古秋下

新古秋下

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

新古秋下

新古秋下

新古秋下

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

新古秋下

新古秋下

新古秋下

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

新古秋下

新古秋下

新古秋下

新古秋下

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

拾玉集二

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

風雅秋上

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一

拾玉集一







後撰夏 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼いと夕涼かきり 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集一 去年はて秋の雨とよも自も 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 同又 芥の香はいとよも自も 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 不裁雜上 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 新拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 後拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 玉葉五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集三 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 玉葉五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 新拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 風雅五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集二 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと

後撰夏 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集一 去年はて秋の雨とよも自も 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 同又 芥の香はいとよも自も 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 不裁雜上 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 新拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 後拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 玉葉五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集三 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 玉葉五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 新拾遺下 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 風雅五 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと  
 拾玉集二 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと 夕涼の衣は成ぬれと

大納言の世 院新宰相  
 堀河右大臣 法性寺金道  
 和泉寺 西行法師  
 夢窓圓師 前斎院六條  
 皇太后大内 後醍醐天皇  
 西行法師 僧正行意



拾玉集四

冬乃雪の雪けは雪の雪け

きよきよきよきよきよ

後拾秋下

天の十洲の信を流す人

きよきよきよきよきよ

新拾上

善悪のあひくは月夜

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

つらふ人れはあはれ

きよきよきよきよきよ

新拾古

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新子名

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

風雅

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

山家集下

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

千載冬

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新古冬

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾遺草

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新拾雅

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

月清集上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後十秋上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾遺草

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新子尺教

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新拾古

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新葉律依

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後撰

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同二

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新古雅下

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後拾遺雅

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

玉葉

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

月清集上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新花雅上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新子雅別

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後撰

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同二

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新古雅下

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後拾遺雅

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

玉葉

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

月清集上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新花雅上

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新子雅別

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後撰

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

拾玉集四

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

同二

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

新古雅下

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

後拾遺雅

あふあふの雪はみみ水

きよきよきよきよきよ

入道内太良 菅贈大政大臣 後白河院表 右大臣 等持院贈太良 右大臣 菅贈大政大臣 後白河院表 右大臣 等持院贈太良 右大臣



拾玉集四

秋のふも月のさかりもほろけ  
きよなる園のしづまき

新後撰集

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新後撰上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

拾遺集

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新古賀

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

後撰離別

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷四

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

山家集下

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる

新撰卷上

さすめくちのふもさすめくち  
きよなる世を月をきよなる







後撰雜上	かつらまゝかたはらふけす	まのたふらふけす	實方朔片
古今雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	よゝろく
大和物語	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	ほき野津の
後古雜中	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	実隆院大正
後古雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	近京信愛院
拾玉集六	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	前々後雅有
後子安	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	順徳院製
後拾雅下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	前内大臣
土生三三	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	三三の達
拾遺五草	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	お中絶言書
風雅雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	前中絶言書相
後撰五又	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	よゝろく
新千尺教	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	前大僧と兼律
新葉春上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	律制衣
同老一	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
古今哀傷	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
大和物語	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
千載集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	お大絶言書
新葉春一	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	西行法師
新子秋上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
風雅志四	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	大絶言書
後千畧	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	かののち
風雅尺教	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
月清集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
風雅志二	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
拾玉集七	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
新古集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	
新子冬	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	

後撰雜上	かつらまゝかたはらふけす	まのたふらふけす	永徳門院
古今雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	儀前歌
大和物語	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後古雜中	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後古雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
拾玉集六	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後子安	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後拾雅下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
土生三三	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
拾遺五草	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
風雅雜下	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後撰五又	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新千尺教	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新葉春上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
同老一	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
古今哀傷	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
大和物語	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
千載集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新葉春一	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新子秋上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
風雅志四	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
後千畧	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
風雅尺教	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
月清集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
風雅志二	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
拾玉集七	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新古集上	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌
新子冬	世の中つれづれなる川	まのたふらふけす	院前歌



後拾遺集上

秋のふかき夕べに海をり 雲のよほしき 萩のよもぎ

白土春景

拾遺集下

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

山家集下

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

長秋歌集

ひまふしき 雲のよほしき 萩のよもぎ

同

谷川乃流のまじりし人をも 雲のよほしき 萩のよもぎ

新拾遺

君の色のおもひがたの物をも 雲のよほしき 萩のよもぎ

新拾遺

雲のよほしき 萩のよもぎ

新古志一

秋のけしきあはれなるも 雲のよほしき 萩のよもぎ

新拾遺

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

同

雲のよほしき 萩のよもぎ

新拾遺下

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

後撰雜四

よのちのいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

後拾遺

ねねよほしき 萩のよもぎ

新拾遺

人ほしき 萩のよもぎ

玉葉秋下

秋のけしきあはれなるも 雲のよほしき 萩のよもぎ

同

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

同

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

同

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

玉葉秋上

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

長秋歌集上

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新拾遺

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺集一

いとせめていづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新裁冬

雲のよほしき 萩のよもぎ

壬生三平中

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新裁冬

雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺集三

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新裁冬

雲のよほしき 萩のよもぎ

後拾遺雜三

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新裁冬

雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺秋

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺集一

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

山家集下

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

壬生三平中

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

新裁冬

雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺集二

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

拾遺集上

けしきいづもふも神もあはれ 雲のよほしき 萩のよもぎ

後人志

大徳寺有家

若原資隆下

后香園院道

清備居士

本貳三位

刑部卿新傳

曾孫好忠

指大徳寺











新後古三 柳の根はけりも雪の白くして きてぬかりひの福うきく 前大納言雅之  
 新拾遺上 山里のつれづれ雪れけり きてぬかりをてき此初茶 源俊中  
 玉葉雅五 宿霧のりり思ひきくまふあつら きてぬかりをてき此初茶 少輔金婦  
 新後古三 日乃まあひひてきむ朝霧の きてぬかりをてき此初茶 法法云  
 新子文 まふりまき霧よりききくも旭雲 きてぬかりをてき此初茶 昭訓院小塔  
 古今雅上 日乃海のあきつてあひまう きてぬかりをてき此初茶 よりあつら  
 新古三 朔露れおきけりもあつら きてぬかりをてき此初茶 更衣深園子  
 好撰三 光あつる霧よりききけりもあつら きてぬかりをてき此初茶 よりあつら  
 古今三 我宿のの霧のかきけりもあつら きてぬかりをてき此初茶 紀もろり  
 新後拾遺二 思河あつらもあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 式乳門院連  
 月清集下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 法平定為  
 新拾遺四 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 小野宮太政大臣  
 拾遺三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 律寺園冬  
 壬生二下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 赤人  
 新子文一 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 院古製  
 長秋詠藻 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 玉葉雅四 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新後撰四 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶

新後古二 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 赤人  
 新古三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶 院古製  
 新後撰三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新葉雅下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新十尺教 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新子文二 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 拾遺自外上 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 月清集下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 拾遺集一 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 拾遺集二 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新後撰四 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新古三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新拾遺三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新葉文一 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新後撰下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 千載集下 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶  
 新古三 あり鴨あつらあつらあつら きてぬかりをてき此初茶



新拾遺集

時世といひてやもさだま又火燭

まゝのころおれ衣のまて

前持僧室

後古今

時雪はれり後のはのうま

まゝのころおれ衣のまて

平春時別日

玉葉志四

秋の四乃志のよきまきまき

まゝのころおれ衣のまて

家持

金葉志下

水のうへより白雪のあももく

まゝのころおれ衣のまて

右京威通親

新葉尺教

思ふはるるおのまはるる

まゝのころおれ衣のまて

后村上院

拾遺愚草

むらさきまきまき

まゝのころおれ衣のまて

三位中将

同

しら月乃ころころ

まゝのころおれ衣のまて

兼香殿中御言

後撰志四

こぬをたのこころ

まゝのころおれ衣のまて

順徳院

大和物語

こぬをたのこころ

まゝのころおれ衣のまて

后嵯峨院

風雅志上

ちくほりまはるる

まゝのころおれ衣のまて

冷泉院

新撰尺教

をらうあつはるる

まゝのころおれ衣のまて

后嵯峨院

後撰志又

ふりやあつはるる

まゝのころおれ衣のまて

冷泉院

新撰尺教

けりあつはるる

まゝのころおれ衣のまて

冷泉院

拾遺愚草

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

冷泉院

拾遺愚草

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

冷泉院

後撰拾冬

わく山のまきまき

まゝのころおれ衣のまて

後三位行能

新撰秋上

これら光の本をうかり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

壬生二系中

月のつらさのほの山は

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

同

雪のまきまき

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

新撰哀傷

うらさきまき

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

同志一

雪のまきまき

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

古今志三

かきこぼれ雪れ下きり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

後撰冬

冬れ他乃加れ

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

後撰志四

風あつはるる

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

拾遺愚草

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

新撰志一

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

後撰志下

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

新撰志上

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

古今春上

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

後撰志上

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

拾遺愚草

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

新撰志一

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

玉葉志

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

拾遺志外上

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能

拾遺集十

おもしろいそれとみり

まゝのころおれ衣のまて

后三位行能



同一

同

新撰拾遺

於玉集一

於遺草

於葉尺教

於古哀傷

於遺草

於遺雜

於玉集四

於撰雜三

於於其上

於遺草下

古今春上

伴勢抽送

於於其上

於葉三

罪の草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

後述後前本

院中製

女侍女子

平井

後室

大納言

民

先賢

新撰古雅上

新古書下

後撰卷二

同

於

拾遺自外

後撰冬

山家集下

後古志四

後撰拾遺一

後撰拾遺上

拾玉集四

金葉雜上

拾遺雜卷

壬生二上

後拾遺上

古今離別

後撰拾遺

草の葉の乃かよひのよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

あまの草のよきと悪の草のよき

念の法師

太上天皇

貫之

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ

元良のみ



後古今

多岐西のけきまうううん

ききれきうのりまのの月

持大僧於無實

拾遺揚名

いりめれ石とてみてかとうき

ききれきまをかくらるる

中の人

新古今三

はるらうていん秋風とせりまめ

ききよせのまうとてまに

順徳院御製

後撰五

りうとのと音のよのめくきん

ききよきとてわらまきれ

よんくく後

同雜二

おぼ乃ゆあつまうももれきと

ききとくちそいさまうり

うゆきののり

新古今集

あま雪まらまきりしれきよの

ききりてうつあありり也

秋津成廣

月清集下

妹有ゆらぬ水れれれ後ち

ききりまらほも神をぬぬら

清輝初作

拾玉集又

木の葉かろうりしれ初め

ききりく袖をききみぬん

同

同

しうのぬくたぬか山はそをぬ

ききりく袖をききみぬん

同

新古今下

店衣この里人乃うのしを

ききりてうつあありり也

秋津成廣

同五

郭公のひもりぬむとてを

ききりてうつあありり也

西行法師

風雅雜上

ききりてうつあありり也

ききりてうつあありり也

三吉乃理

玉葉秋上

山きりし雪を晴らしてあうり

ききりてうつあありり也

秋津成廣

玉葉雜三

吹さむむひりしと今いさひれ

ききりてうつあありり也

進子内教

風雅雜中

雲をうつし谷のちるるの香

ききりてうつあありり也

権律師実基

新古今上

福やまきき秋の葉まよ風を

ききりてうつあありり也

同

後千秋下

霞のうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

古今秋下

我まらう方もあまはるりし

ききりてうつあありり也

同

新拾尺教

ききりてうつあありり也

ききりてうつあありり也

同

新古今集

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

風雅秋中

雲のうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

拾遺集下

うらりしひるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

新古今上

雲れぬらうりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

新古今二

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

金葉名

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

後千秋上

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

新古今上

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

風雅上

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

新古今三

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

後千秋下

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同

後千秋上

あまのうははるりしぬ雪あれぬ

ききりてうつあありり也

同



新古今集

先春よりいづるをみりて

さこそそらつ白川の風

空上人

後集上

九すれはけのそはよも

さこそそれめりきり

目録 道因律師 大政大臣

凡雅秋上

つれ秋の優はるひつ

さこそそれめりきり

大僧心花窓

新古今集

秋は秋の優はるひつ

さこそそれめりきり

小井

後集下

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

道命法師

新古今集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

法眼行海

山家集下

さこそ思ひいづる

さこそそれめりきり

法眼行海

拾遺集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

新古今集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

拾遺集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

後集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

新古今集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

玉葉集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

新古今集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

松風

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

壬生二下

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

新古今集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

清輔下

新古今集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

後二位少輔

玉葉冬

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

後醍醐天皇

凡雅冬

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

宗蓮法師

山家集六

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集六

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

壬生二下

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

拾遺集

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

壬生二下

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

後集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

後集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

後集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

山家集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后

後集上

あつとて思ひいづる

さこそそれめりきり

皇太后







凡雅集

古今集傷 郭公けさ鳴よまよわらげふ きみよつれ時をささる 彦人不知  
 及拾遺雜三 みちたけのあさしほま弓ひくまを きみよつれとまをせつる外 源重之  
 拾玉集五 ささるくくははりさうまをさう きみよつれとま初雪の元 左大右  
 郭勅志不 タクありけりもみいつ井は家 きみよつれはける今下をくれ 左道中ね公衡  
 拾遺志草 わくもさきまをり今下をさそき きみよつれつとまをさるもみ 小  
 郭勅志四 鳴らりれ仲中川にきくぬきも きみよつれかたりさそとまをさる 小  
 壬生二系下 めくくあの新婦ももあもき きみよつれあは月やみらん 小  
 大和物語 ゆくすまのすくせまをぬきさるま きみよつれかたりはかともいひさ 小  
 拾遺志草 泣きもくありさあひひもとけりゆ きみよつれいあるまき始の左 小  
 凡雅雜上 うつうるうるさ香もさき揚屋 きみよつれまをさるえうりう 小  
 玉葉雜紙 いり水ささるな流うらまひま きみよつれそくもゆせくら 同  
 郭勅志一 わくは流さの細いをさくふ此 きみよつれそくを浦くはる 同  
 後子賀 凡さうらたみの茶葉もさあは きみよつれそくひくまは桂ま 前大納言長良  
 拾玉集又 春は秋楳の香もたれちけし きみよつれそくひくくゆふ 定家  
 浮舟 らぬの雪けのらぬうささき きみよつれそくまをさるまは 小  
 凡雅賀 徹りやねはつらうらぬさくき きみよつれ人のさくんとはは 皇太后殿  
 古今集不 るの國せきの若川とすて きみよつれつとまをさるまは 小

玉葉雜紙

玉葉雜紙 秋風よひくさあ瀧の跡もて きみよつれつとんとさうま 左大納言長良  
 郭勅吉雜 世とわらう方みありけんは我 きみよつれつとつねと成(手) 経行成  
 郭子雜上 朽跡る老木の柿四代とまき きみよつれつとつねと成(手) 前中納言雅孝  
 郭拾遺紙 秋ささる代わさ海まをりま きみよつれつとつねと成(手) 経行成  
 後拾遺上 春は春を鳴らぬはれさるき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 郭古雜上 何さうらけの跡もさきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 月清集下 何さうらけの跡もさきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 大和物語 きされもいひらねはさるき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 郭子口雜下 昔向山谷乃煙末くらぬきも きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 後拾遺集傷 下まをんとあひさるまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 郭拾遺紙 今うら人とまをさるまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 拾遺志草 おくまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 同 年ぬきまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 千載志四 春ぬきまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 拾玉集又 法とわらう方みありけんは我 きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 及撰志三 思ふてさきまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 千載志四 惟色よりまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良  
 拾遺志下 緒さるまをりあはりぬきまをき きみよつれつとつねと成(手) 左大納言長良



竹河 あいれをよとせしはまは さまよふす我男とるは  
 壬生二上 ちんちん神代とけて葦草 きみは二葉のひきまら  
 子我喜傷 老らるれはのち風あつちりきき きみまつてひ別めらふ  
 同離別 別るは海さうとけき命下ふ きみはふらふひあまを思へ  
 後拾賀 他まよはれぬとせしうらつて きみはふらふひあまを思へ  
 新勅雜二 山さけ海あせりん世りも きみはふらふひあまを思へ  
 新子集二 大海まきん岐のうもあふ きみはふらふひあまを思へ  
 凡雅志一 善柿のうらき山ははれあふ きみはふらふひあまを思へ  
 伴勢物後 芳もさうらちらうほのまきま きみはふらふひあまを思へ  
 後古志二 さもいふみかた神乃上るあ きみはふらふひあまを思へ  
 古今志一 足引の山やとまのりつこわ きみはふらふひあまを思へ  
 金葉志下 ころけいさけきまはまきま きみはふらふひあまを思へ  
 壬生二中 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 拾玉集又 むのり月のとまあふねも きみはふらふひあまを思へ  
 後後撰志二 源川もあつてにせられけり きみはふらふひあまを思へ  
 拾玉集又 縁てもうさなれはあまきま きみはふらふひあまを思へ  
 凡雅雅下 衣さけけりてきまて時のまも きみはふらふひあまを思へ  
 拾遺志也 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ

新葉志一 雅あまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 後撰志二 花さけけりてきまて時のまも きみはふらふひあまを思へ  
 拾玉集二 人さうらちらうほのまきま きみはふらふひあまを思へ  
 凡雅志四 世中もあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 拾遺志三 人さうらちらうほのまきま きみはふらふひあまを思へ  
 新子集二 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 新葉集二 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 拾玉集五 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 拾遺志二 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 大和拾遺 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 山家集下 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 大和拾遺 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 詞花雅上 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 後後撰志三 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 古今志下 ちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 同離別 秋の秋のちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 新葉集二 秋の秋のちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ  
 後子集 秋の秋のちんちんあまのけみさかきま きみはふらふひあまを思へ

右近大納言 貫之  
 小町  
 侍守國友  
 後三位國量  
 大納言  
 琳賢法師  
 洞院後政左衛門  
 一條公房



玉葉集四

金葉別

拾遺草

後拾遺

拾玉集一

玉葉賀

新古賀

壬生二系上

新後拾遺

長秋詠藻

新後拾遺

新古雜下

玉葉雜下

新拾賀

玉葉雜又

後古雜下

拾玉集又

新後古雜

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 春之末之末

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

子載三

玉葉雜一

同賀

後撰五四

後子雜下

山家集下

拾遺草中

後撰五六

同五

子載神祇

後古神祇

同五

壬生二系中

後撰五

新勅五二

新勅五二

後千載

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云

あはれにう神六玉葉のききなるも きんをりてききとて 大徳言云



後千器 依つらんのち松前いづれの海を  
 壬生三下 古の月やこころ秋つけうめく  
 古今秋上 久るれあまのうらけさしり  
 子我志又 ふるまふかれば社乃神もまけ  
 長秋詠摩 むくもも時まあひひ世り  
 子我雅中 う紀世をたれて入り山をれと  
 後拾遺春上 うつえつさつさつさつさつさつ  
 後拾遺雅 社垣をえされば山はけさく  
 凡雅賀 極苑をせのまればあひて  
 新後社祇 さ経るの林はさき後さう  
 吹風よさうはひらりうらり  
 同休天 あつとあつとさう山のほろま  
 後拾遺雅又 秋といまれば松原いきさうり  
 重日くさあ風のこころさき  
 長秋詠摩 けけけけけけけけけけけけ  
 後拾遺雅 恒吉のきれば松原さあ  
 久くぬねあつと山は春さあ  
 拾玉集七 露のくもるれきか松原さ  
 後千器 露のくもるれきか松原さ

山家集下 暮らつじゆらぬ松原さあ  
 後千賀 いりそ作あやも今うら  
 拾遺賀 行とあも子月れば乃きうら  
 拾玉集一 いつとまはらうさうさ  
 後拾賀 百安よ子月れば乃きうら  
 凡雅賀 暮らうららうさうさ  
 後拾賀 いづれもさうさうさ  
 長秋詠摩 恒吉ればもさうさ  
 拾玉集六 うらうらうらうらうらうら  
 拾遺別 うけまれば松原さあ  
 拾玉集三 りとまらまはらうさうさ  
 新古雅中 恒吉ればもさうさ  
 壬生三下 暮れ山家の松原さあ  
 古今賀 暮らればうらうらうらうら  
 新後古去 みを月ればうらうらうら  
 同賀 暮れ山家の松原さあ  
 新古賀 まるれらうらうらうらうら  
 拾玉集七 みかへらうらうらうらうら

刑部卿

馬内侍

前大僧正

津守四郎

前中納言

小野好古

源重之

土御門右大臣

三条太政大臣

深心院

大貳三任

五段内大臣

中納言

前大納言







大和物語 かくしつていふおほいせの御事 さまうてつとたか けいふ  
 後古歌集 かくしつていふおほいせの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新勅書三 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 玉葉集三 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 伊勢物語 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 後拾遺歌上 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新拾遺歌中 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新拾遺歌下 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新勅書三 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 後古歌集 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 大和物語 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新古賀 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 壬生二平上 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 後千賀 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事

拾遺書皇 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 行幸 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 拾玉集三 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 後撰意又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 拾遺意草 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 拾玉集又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新勅書又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 後撰意又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 拾玉集又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新勅書又 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 山家集上 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 新勅書上 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事  
 拾玉集六 御むすもちもあまの御心 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事 さまうたむけの御事



古今賀

かゝりてはあめかきあうりてはしんせらるはにきしめい 仁徳門はあ

拾遺草上

くりのあきみくらんをきあまの けしんいふせはあしりのふ

月清集下

言砂乃松栞をして鳴くもも きんくハもせはあまきあん

後撰秋上

あふみのうけり川るをうて きんくハもせはあまきあん

新勅集三

今朝のまもみは海もきんくハ きんくハもせはあまきあん

後撰秋上

天川をききりてうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾遺秋

天川をききりてうけりあまの きんくハもせはあまきあん

月清集下

白きく乃海もききりてうけりあまの きんくハもせはあまきあん

古今五

曉乃暗のうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新葉三

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新勅集四

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新古集上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

古今一

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾遺草上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

古今五

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新葉五

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾玉集一

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

金葉下

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾玉集二

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

月清集下

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

玲虫

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

後撰三

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

風雅下

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新古集下

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新勅集四

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

月清集上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

玉葉集一

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

山家集上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

伴勢物語

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

赤尾

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾遺草上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

拾遺旋頭

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新勅集四

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

古今五

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新勅集下

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん

新勅集上

あまのうけりあまの きんくハもせはあまきあん



新葉賀

古今集

同

新拾賀

古今集

古今集揚

拾遺集

新葉賀

月清集下

新葉賀

長秋詠

同

壬生二品中

新拾賀

拾遺集

月清集下

古今賀

日之影をうつす影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

曇るる影の影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

たけの影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

万葉の影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

けりけり影の影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

いづれ影の影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

古今集揚  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

拾遺集  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新葉賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

月清集下  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新葉賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

長秋詠  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

同  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

壬生二品中  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新拾賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

拾遺集  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

月清集下  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

古今賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新千賀

拾遺集

拾玉集一

大和拾遺

乙女

新葉賀

千載雜中

伴勢抄

拾遺集

拾玉集二

新葉賀

新葉賀

新葉賀

新葉賀

新葉賀

新葉賀

新葉賀

新葉賀

月も月もいづれ影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

二とちうとちう影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

みみみみ影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

かげき影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

みみみ影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

おろろ影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

くわく影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

吹く影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

志る影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

うれく影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

大井影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

時影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

世影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

燭影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

玉葉影にさす  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

月清集下  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新葉賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす

新葉賀  
きみうらやまの影にさす  
あの中納言言さす



山家集上 海つよあひみ... 君つらき... 死行法師  
 玉葉集 玉葉集... 君つらき... 死行法師  
 後古賀 後古賀... 君つらき... 死行法師  
 拾玉集五 拾玉集五... 君つらき... 死行法師  
 山家集 山家集... 君つらき... 死行法師  
 後千巻傷 後千巻傷... 君つらき... 死行法師  
 風雅雜中 風雅雜中... 君つらき... 死行法師  
 新勅系二 新勅系二... 君つらき... 死行法師  
 拾遺系三 拾遺系三... 君つらき... 死行法師  
 風雅雜上 風雅雜上... 君つらき... 死行法師  
 新撰古三 新撰古三... 君つらき... 死行法師  
 千載雜別 千載雜別... 君つらき... 死行法師  
 新子集續 新子集續... 君つらき... 死行法師  
 金葉賀 金葉賀... 君つらき... 死行法師  
 後拾遺別 後拾遺別... 君つらき... 死行法師  
 山家集下 山家集下... 君つらき... 死行法師  
 同 同... 君つらき... 死行法師  
 但勢地 但勢地... 君つらき... 死行法師

後衣一 後衣一... 君つらき... 死行法師  
 後撰集傷 後撰集傷... 君つらき... 死行法師  
 後千巻上 後千巻上... 君つらき... 死行法師  
 後撰雜 後撰雜... 君つらき... 死行法師  
 同賀 同賀... 君つらき... 死行法師  
 拾玉集五 拾玉集五... 君つらき... 死行法師  
 山家集上 山家集上... 君つらき... 死行法師  
 後古賀 後古賀... 君つらき... 死行法師  
 新葉雜下 新葉雜下... 君つらき... 死行法師  
 拾遺集草中 拾遺集草中... 君つらき... 死行法師  
 同 同... 君つらき... 死行法師  
 後千巻中 後千巻中... 君つらき... 死行法師  
 新勅雜一 新勅雜一... 君つらき... 死行法師  
 同尺教 同尺教... 君つらき... 死行法師  
 拾遺集草上 拾遺集草上... 君つらき... 死行法師  
 新古秋下 新古秋下... 君つらき... 死行法師  
 山家集下 山家集下... 君つらき... 死行法師  
 後撰冬 後撰冬... 君つらき... 死行法師







拾遺三 人のうのまゝに... 皇太后...  
 後撰雜別 水よもあも... 皇太后...  
 新葉秋上 侍るよん月... 皇太后...  
 後撰三 久しも... 皇太后...  
 新拾遺四 いは... 皇太后...  
 新後古秋下 彼と... 皇太后...  
 拾遺負外下 いら... 皇太后...  
 古今愚感 是ま... 皇太后...  
 壬生二上 我... 皇太后...  
 後古雜上 後... 皇太后...  
 後千五又 志... 皇太后...  
 後撰雜三 ち... 皇太后...  
 拾遺三 ち... 皇太后...

後拾遺雜 志... 皇太后...  
 新古雜上 志... 皇太后...  
 新後拾遺秋 志... 皇太后...  
 同五又 志... 皇太后...  
 新華志又 志... 皇太后...  
 後拾遺雜 志... 皇太后...  
 新古尺教 志... 皇太后...  
 新後雜上 志... 皇太后...  
 後拾遺三 志... 皇太后...  
 新葉秋下 志... 皇太后...  
 金葉冬 志... 皇太后...  
 風雅雜上 志... 皇太后...  
 壬生二下中 志... 皇太后...  
 新拾遺下 志... 皇太后...  
 新勅書下 志... 皇太后...  
 胡蝶 志... 皇太后...  
 大和物候 志... 皇太后...



巻のき

世

拾遺集下 泥水はわづらふをいふも 大貳高遠

子我輩は ともほくとほりて仲とて 揚政前右大臣

月清集下 なるちり仲乃小崎よりいふ 式乳門院西

拾玉集二 こそあて今も無きもあはれ 平兼盛

新撰古書下 新書はあつていふ 平兼盛

山家集 まりあさきけの海りの守 平兼盛

壬生二又中 並乃指もほのくもぬき 平兼盛

後拾遺集 ねのふとねのふとん 平兼盛

古今雅上 我ももいさく 平兼盛

伴物抄 我ももいさく 平兼盛

後拾遺集 水ももいさく 平兼盛

金華秋 大井の岩もいさく 平兼盛

月清集下 多とつとて其乃き 平兼盛

風雅賀 若う代乃き 平兼盛

拾玉集三 松うさよはうす 平兼盛

後拾遺集 ちれつとつとつ 平兼盛

金葉春 茶のちとつとつ 平兼盛

山家集下 ちりあんとん 平兼盛

後撰下 ちりあんとん 平兼盛

頁ノ





九

九



